

皮膚科学の進歩に寄与する研究報告書

界面活性剤は皮膚バリアに影響する

界面活性剤には人工的に合成されたものと自然に合成されたものの2種類がありますが、いずれも皮膚バリアに少なからず悪影響を与えます。しかし、特定の条件下では、天然の界面活性成分は好影響を与えます：

1. 天然の界面活性成分の特徴と用途: 自然由来の成分を基にしており、植物や動物の抽出物、果物の皮、果汁、牛乳や卵黄に含まれる成分などが含まれる。生分解性が高く、皮膚バリアや環境への影響は少ないが、長期間使用すると悪影響が出る。メイク製品、スキンケア製品、ヘアケア製品、洗顔料、シャンプー、ボディソープなどに配合される。なお、油分の中にリノール酸が含有し、天然の界面活性成分によるエマルジョン化粧品を長期間使用した場合は、むしろ皮膚バリアに良い影響を与える。
2. 人工の界面活性剤の特徴と用途: 石油を原料として化学合成され、大量生産が可能で洗浄力が高く、生分解性が低く、皮膚バリアや環境への影響が大きいため、長期間の使用は絶対避ける。メイク製品、スキンケア製品、ヘアケア製品、洗顔料、シャンプー、ボディソープなどに配合。代表的な例は、ラウリル硫酸ナトリウム(SLS)やラウレス硫酸ナトリウム(SLES)などがある。

界面活性剤は、スキンケアやメイクなどの化粧品、洗剤、シャンプーなどさまざまな製品に使用される成分で、水と油のように本来混じり合わないものを混ぜる働きを持ちます。

界面活性剤は、皮膚バリアに必要な皮脂や細胞間脂質などの脂質を溶出し、肌トラブルの原因となります。また、タンパク質を分解し、肌のバリア機能を破壊しますが、肌を滑らかにし、柔らかくし、古い角質を取り除くなど、美容の観点から非常に重要な役割を果たしているのも事実です。

すべての界面活性剤配合の製品が悪影響を及ぼすわけではないとする美容専門家の意見もありますが、少なからず悪影響を与えます。しかし、特定の条件下では、天然の界面活性成分は好影響を与えますので、それぞれの界面活性剤の特徴と用途を理解した上で、スキンケア製品を選び、使用することが重要です。